

新渡戸稲造

（著）

農政學者、農學・法學博士。文久二年八月三日陸

奥國生れ、明治八年十月十六日歿（二八二—一九三）。幼名裕之助。別名

大田裕造。札幌農學校卒、明治十七年東京大學を中退してタネリカ留

學、二十四年歸國。札幌農學校助教授、臺灣總督府技師、京都帝國大

學教授を經く、二十九年第一高等學校校長、次々東京帝大教授、大正

七年東京女子大學初代總長、九年國際聯盟事務司次長、十四年帝國學

士院會員。その外貴族院議員、大正洋關題調査會理事等長等々務めた。カ

ナダニ客死。

著書『農業本論』（二版・明治二十二年十一月五日札幌農學校學藝會

藏版、叢華房）『BUSHIDO. Die Seele Japans（獨逸文武士道）』（エ

ラ・カウマン著譯、明治二十四年四月二十四日叢華房）『BUSHI-

DO. THE SOUL OF JAPAN』（1905 NEW YORK AND LONDON G. P. PUTNAM'S

SONS）『隨想錄』（櫻井鷗村和譯、明治四十年八月十五日、再刊・

大正七年六月二十一日丁未出版社）『叢山講演集』（合著・小池信

美編、明治四十年十一月十日大阪・大阪朝日新聞社）『歸雅の蘆』

（明治四十年十一月十六日弘道館）『武士道』（櫻井鷗村譯、明治

四十二年二月二十五日丁未出版社）『上野會於ける各士講演集・第一輯』

（合著・千葉縣師範學校上野會編、明治四十一年二月二十九日千葉・

上野會）『上野會農業本論』（明治四十一年四月二十二日弘道館）『我

学生の奮闘』（合著・井上泰在編、明治四十二年十一月二十八日博文

館）『知られざる秋田』（合著、明治四十二年十一月一日龍澤武編

刊）『フヤウスト物語』（内題「フヤウスト」物語）明治四十二

年十二月十一日弘道館）『THOUGHTS AND ESSAYS（英文隨想錄）』（再

版・昭和四十二年六月二十日（未出版社）『The Japanese Nation.

Its Land, Its People, and Its L-

ite With Special Consideration

to Its Reletions with the United

States)』(1912 New York and L-

ondon G.P. Putnam's Sons)、『人生

雜誌』(國井通太郎編、大正四年)一

月十一日(警醒社書店)、『婦人必勤のく』(大正五年五月五日東京

社)、『ABC』(日本辭典) (共編、大正五年六月一日(三省堂)、『建

國史話』(大正七年七月十五日新美書店)、『たのび』(合著、山川

雄次編、大正七年十一月二日(雄堂書店)、『JAPANESE TRAFFIC AND

FOREIGN INFLUENCES』(1927 LONDON. KEGAN PAUL, TRENCH, TRUBNER &

CO. LTD)、『東亜相觸れ』(昭和二年十月二十九日實業社(日本社)、『

米國人の觀たる滿洲問題』(編、昭和四年九月十五日太平洋問題調

査會)、『太平洋問題叢書』、『教化總動員と講演』(合著、昭和四年

十一月五日大阪・大阪府社會課)、『太平洋問題』(一九二九年京都會

議)、『編、昭和五年九月十二日太平洋問題調査會、丸善株式會社發

賣)、『性格と事業』人物の價值に就いて』(講演、昭和六年三月)一

十五日東京講演協會)、『講演。シンポジウム』、『歐米社會思想とその

批判』(河合榮次郎、正美合著、思想問題研究會編、昭和七年二月二十五日

社會教育會)、『思想問題と教育』(合著、同、昭和七年六月十日社

會教育會)、『偉人群像』(昭和七年十一月五日實業社(日本社)、『

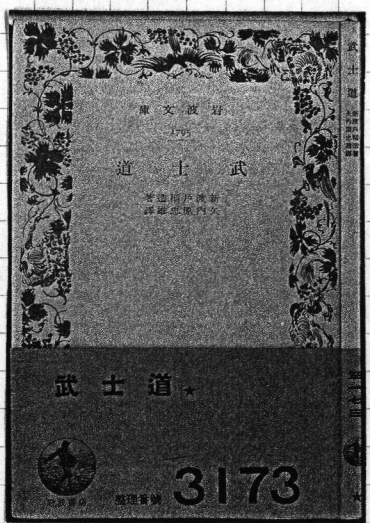
APAN (Some Phases of her Problems and Development)』(1931 New

新渡戸稲造著



フアウスト物語

- York Charles Scribner's Sons) / 『武士道』(漢譯) 一翁道植講義録』
 (合著・鈴木誠治編、昭和七年四月) 二十八年編輯會) / 『西洋事情
 と思想』(昭和九年一月五日實業之日本社) / 『FEMININSCENCES OF C-
 HILDHOOD (IN THE FARLY DAYS OF MODERN JAPAN)』(昭和九年十一月
 七日新渡戸博博士刊、九書株式會社發賣) / 『LECTURES ON JAPAN (AN
 OUTLINE OF THE DEVELOPMENT OF THE JAPANESE PEOPLE AND CULTURE)
 (日本の文化)』(昭和十一年七月二十五日研究社) / 『新渡戸博士
 讀本』(矢内原忠雄編、昭和十二年六月二十日實業之日本社) / 『E-
 DITORIAL JOTTINGS』(VOL. I / VOL. II) 昭和十二年四月二十一日北軍
 堂書店) / 『武士道』(矢内原忠雄
 譯、昭和十二年七月十五日岩波書店
 『岩波文庫』) / 『新渡戸植民政策
 講義及論文集』(同編、昭和十八年
 七月十五日岩波書店) / 『米國建國
 史要』(左版・昭和二十一年二月二十日有斐閣「米國講座叢書」) 等。
 文獻、飽翁道人評論 『英武十道評論・英又武十道評註』(明治二十五年
 五月八日叢華房) / 『新渡戸裕造先生追憶錄』(昭和九年二月一日
 東京女子大學向窓會) / 『石井滿著「新渡戸裕造傳」』(昭和九年七月十日
 東京女子大學學友會) / 『高木以尺編「新渡戸博士追憶集」』(昭和十一年七月
 五日關谷書店) / 『前田多門
 月』(二十五日田島道治刊) / 『矢内原忠雄著「内村鑑三と新渡戸裕造」』(昭
 和二十二年七月) 二十五日自產書房) / 『Sukeo Kitasawa (北澤佐雄) 著
 『THE LIFE OF DR. NIHOE (新渡戸博士傳)』』(昭和二十八年五月十日
 八日北澤佐雄書房) / 『宮部金吾
 前田多門著「新渡戸裕造」』(昭和二十七年九月一



白書等・醫國巾被所）、松原凌上善『新渡谷翁遺言』（昭和四年八月）
月）『千日女不才書房』、奈良本辰也訳・解説『現代語訳讀心武十道』
（昭和五十八年十一月）『千五日二才書房』等。